

第24回山梨県中学校技術・家庭科作品展実施要項

1. 趣旨

- (1) 生徒・児童・保護者および一般の方々へ作品を公開することにより、技術・家庭科教育への理解を深める機会とする。
- (2) 県下小中学校、高等学校の生徒児童作品を一堂に展示し、より多くの作品を観ることにより、生徒、児童および教師がお互いに切磋琢磨する機会とする。

2. 主催

山梨県中学校技術・家庭科研究会

3. 後援 (予定)

山梨県教育委員会
NHK甲府放送局
山梨日日新聞
山梨放送

4. 展示期間

12月4日(土)～12月5日(日)

展示時間

1日目 午後1時30分～午後4時30分
2日目 午前9時～午後3時

5. 展示会場

甲府市総合市民会館(2階 展示室)
所在地 甲府市青葉三丁目5-44 (Tel. 055-235-1428)

6. 展示作品

- (1) 山梨県内の中学校に在籍する生徒の作品であり、各学校において審査検討した結果、優秀と認められたもの。
なお、作品数は、各学校技術分野12点程度・家庭分野12点程度とする。
(選択授業の作品も含む)

- (2) 今年度は技術・家庭科の授業(選択授業の作品も含む)において製作した作品を授業作品(第1部門)とし、部活・クラブ・長期休業課題・家庭で製作した作品を授業外自主作品(第2部門)とし、募集展示する。

7. 審査の方法および表彰

(1) 審査の方法

- ① 各学校において第1次選考を行う
各学校技術分野12点程度・家庭分野12点程度とする。(選択授業の作品も含む)(作品は、基礎基本がしっかりと捉えられているものであること)
- ② 審査には、県教育委員会義務教育課指導主事、並びに県総合教育センター研修主事がこれにあたる。

(2) 表彰

- ① 優秀な作品には、山梨県教育長賞・山日YBS賞・NHK局長賞を贈る。
- ② 作品展参加作品には、山梨県技術・家庭科研究会長賞を贈る。

8. 審査基準

本教科の各分野・各領域の目標に合致した作品であり、製作意図や取り組み内容が明確に表れた作品であること。

9. 「全国ものづくりフェア」への出品について
 月に にて開催される「全国ものづくりフェア」の作品展に出品する本県の作品は、第24回山梨県中学校技術・家庭科作品展での優秀作品とする。

山梨県教育長賞・NHK局長賞・山日YBS賞を受賞した作品の中から、数点を出品する。

来年度行われる関プロ作品展の県代表作品は今作品展において入賞した1, 2年生の作品から数点出展する。

10. 申し込み方法及び期日
 各支部の研究推進委員は、各支部の作品・氏名一覧表を事務局担当校（甲府北中学校・山岸 正人）まで、Eメール送付で報告する。メールについては必ず確認のメール返信を行います。

申し込み期日 **平成22年11月26日(金)** **期日厳守**

申し込み先 甲府市立北中学校

〒400-0072 甲府市大和町4-35

TEL 055-252-4804

FAX 055-252-4839 (一覧表は送らないで下さい)

山岸メール以 nanaoharu@yahoo.co.jp

担当 山岸 正人 090-1035-7983

申し込み方法 ①メール（ファイル添付で）

*追加で名簿を送られる場合は、変更点のみファイルに保存してお願いします

作品・氏名一覧表の例

※一覧表は以下に従ってください。

(1) できたら「エクセル形式」で保存してください。

(2) 一覧表は以下の表を参考にして作成してください。

番号	分類	学年	作品名	氏名	支部名	学校名
1	①	1	CDラック	小林 孝	甲府	南西中
2	⑫	2	ウォールポケット	山岸 正人	甲府	北中
3	技選	3	運搬ロボット	中澤 康夫	中巨摩	甲西中

通し番号

次頁の分類例をよく見て、必ずいずれかの分類に当てはめてください

作品分類例

【授業作品 第1部門】

< 技術 >

}	「技術とものづくり」	木材を中心とした作品・・・・・・・・・・	①
		金属を中心とした作品・・・・・・・・・・	②
		機械的要素を含んだ作品・・・・・・・・・・	③
		電氣的要素を含んだ作品・・・・・・・・・・	④
		栽培的要素を含んだ作品・・・・・・・・・・	⑤
	「情報とコンピュータ」	制御とプログラムに関わる作品・・・・・・・・	⑥
		マルチメディアに関わる作品・・・・・・・・	⑦
		通信とコミュニケーションに関わる作品・・	⑧
		プレゼンテーションに関わる作品・・・・・・・・	⑨
	「選択」・・・・・・・・・・・・・・・・	技選	

< 家庭 >

}	「生活の自立と衣食住」	衣・・・・・・・・・・・・・・・・	⑩
		食・・・・・・・・・・・・・・・・	⑪
		住・・・・・・・・・・・・・・・・	⑫
	「家族と家庭生活」	家族と家庭生活・・・・・・・・	⑬
「選択」・・・・・・・・・・・・・・・・	家選		

【授業外作品 第2部門】

「部活・クラブ・長期休業課題・家庭で製作した作品」・・・・・・・・自主

全体を通じての注意事項

- ※作品名簿は、期日を守って提出してください。
- 今年も作品名簿の当日持ち込みはお受けしない形にしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
- ※技術分野・家庭分野ともに各12点程度で選出して下さい。
- ※持ち込みの際、支部ごと必ず作品名簿に名前があること、作品が実際にあることを確認して、展示をお願いします。
- ※作品の運搬の際、破損、汚れ等に十分注意をお願いします。
- ※賞状の確認を引き渡しの際、お願いします。
- ※各作品は、必ずいずれかの分類に当てはめてください。
- 上記分類にどうしても当てはまらない場合は、担当まで報告してください。
- 提出していただく作品名簿には「④」というような表示でかまいません。必ずいずれかの分類番号を記入してください。
- なお、例年「選択」のみの表示で、「技」・「家」いずれの「選択」か判断がつかないものが多くあります。「技選」か「家選」をはっきり表示してください。
- ※氏名の文字を間違えないようお願いします。
- (作品展の作品一覧表には、支部で作成された作品・氏名の文字がそのまま使われます)
- ※「情報とコンピュータ」の作品については、支部で出品する作品数だけ、パソコンを用意して下さい。(事務局ではパソコンを用意できません)
- ※作品につける作品カードは、「生活の自立と衣食住」の衣、に関わる作品については必ず縫いつけてください。
- その他の作品は、テープ等でしっかり止めて提出してください。
- ※なお、今年度の作品展にも、小学校及び高等学校の家庭科作品も願ひする予定です。

第24回山梨県中学校技術・家庭科作品展受付当番表

時 間	12月4日(土)当番表	時 間	12月5日(日)当番表
9:00	*作品搬入(研究推進委員) *会場づくり	9:00	} 事務局
10:00	*展示	10:00	
10:30	*審査	11:00	} 事務局
		12:00	
		1:00	} 事務局
1:30	} 事務局	2:00	
2:30		} 事務局	3:00
3:30	} 事務局		
4:30		*終了予定	
※作品の搬入と片づけは、研究推進員の先生方全員にさせていただきます。欠席されると、作品の返却ができません。本年度受付については事務局で担当します。			

※私立中学校の担当の先生方へ（受付当番はありません）

12月4日(土) AM9:00～9:30に、作品カードをつけた作品を、甲府総合市民会館2階展示室へお持ち下さい
(担当：甲府北中学校 山岸 正人)

12月5日(日) PM3:00～3:30には、作品を必ず引き取りにきてください

※小学校・高等学校の先生方も上記私立中学校同様に、作品搬入・飾り付け及び片付けの時間帯には、会場までお越し下さい。

昨年度出展された作品数について

- ①「技術とものづくり」**木材**を中心とした作品(76点)
- ②「技術とものづくり」**金属**を中心とした作品(0点)
- ③「技術とものづくり」**機械**的要素を含んだ作品(1点)
- ④「技術とものづくり」**電気**的要素を含んだ作品(27点)
- ⑤「技術とものづくり」栽培的要素を含んだ作品(0点)
- ⑥「情報とコンピュータ」制御とプログラムに関わる作品(0点)
- ⑦「情報とコンピュータ」**マルチメディア**に関わる作品(5点)
- ⑧「情報とコンピュータ」プレゼンテーションに関わる作品(12点)
- ⑨「情報とコンピュータ」通信とコミュニケーションに関わる作品(2点)

選択技術(20点)

- ⑩「生活の自立と衣食住」**衣**(85点)
- ⑪「生活の自立と衣食住」**食**(2点)
- ⑫「生活の自立と衣食住」**住**(3点)
- ⑬「**家族と家庭生活**」(60点)

選択家庭(83点)

※計	技術分野	143点
	家庭分野	233点
	合計	376点

小学校作品 12点

高等学校作品 0点

作品カードについて

※作品に添付する作品カードについては、昨年度同様に以下の方法から選択してください。

(1) 従来通りの作品カード

◎昨年度の作品表には分類を書き込む欄がありませんでしたので、その欄を追加しました。

作品カード		() 支部	
分類			
中学校	年	氏名	
作品名			
作品説明			

(2) 生徒の学習内容を明確にした作品カード

作品説明をより充実させ、生徒が作品を作る過程でなにを学んだか、何にもっとも主眼をおいて製作したか、どのような方法で製作したか、等を作品説明に加えてよい。その場合、以下の2種類の作品カードが考えられる。

- ①従来作品カードの「作品説明」の部分をより細かく書き記す。枠は拡大しB5～A4程度の大きさになってもよい。
- ②従来作品カードに加えて、授業で使用したプリントや自己評価などを、ポートフォリオ的にまとめたものを一緒に展示する。

※上記の(1)・(2)の①・(2)の②のいずれかの方法で作品カードを製作し、作品に添付して下さい。なお、以下の作品カード例は各支部で必要に応じて複写してお使い下さい。